

2020年10月28日

私立大学図書館協会西地区部会スリム化検討委員会 ロードマップ

私立大学図書館協会
西地区部会スリム化検討委員会

2020年度私立大学図書館協会西地区部会総会にて、資料No.2の通り承認された。(資料No.3議事録参照)

よって、今年度は段階的措置として、①「地区活動の精査」と②「輪番制の抜本的見直し」そして、③「理事校交通費等の経費補助」について提案をすることとなる。

今後の進行の目標設定としては、2020年度第2回西地区部会役員会[2021年3月5日(金)]までに、輪番制見直し案の提示できることを目指す。

よって、以下のような目安を進めることを提案する。

- ① 第1回[2020年10月28日(水)] 現状把握資料提示
- ② **11月20日(金)までに各委員から見直し案の提出**
- ③ 第2回[2020年11月末～12月初旬] 提出された見直し案を基に審議
- ④ 第3回[2021年1月末～2月初旬] 継続審議・案決定
- ⑤ 第4回[2021年2月末日] 継続審議・案決定

2020年度第2回西地区部会役員会[2021年3月5日(金)]

以上

私立大学図書館協会西地区部会
役員校・当番校の選出基準についての申合せ

2009年9月17日 制定

(総則)

1. 本申合せは、私立大学図書館協会西地区部会（以下「西地区部会」という）の各地区協議会（以下「各地区」という）に所属する加盟館が私立大学図書館協会の役員校・当番校の受け持ちを輪番制で選出する基準である。
西地区部会各地区に所属する加盟館が当該役員校・当番校を受け持つ場合は、各地区の基準を尊重して、本申合せが各地区の選出基準を妨げないこととする。

(対象)

2. 役員校・当番校の対象は、私立大学図書館協会会長校（以下「会長校」という）、西地区部会長校（以下「部会長校」という）、西地区部会監事校（以下「監事校」という）、私立大学図書館協会総会・研究大会当番校（以下「総会・研究大会当番校」という）、西地区部会総会当番校（以下「総会当番校」という）、西地区部会研究会当番校（以下「研究会当番校」という）とする。
輪番を受け持つ地区については、1989～2016年の実績や順序を尊重しつつ、同年度に同地区からの当番校選出の重複を可能な限り避ける。

(会長校)

3. 会長校は、収容定員（注1）が8,001人以上（注2）の大学が所属する西地区部会の各地区の校数比率を目安にした輪番制とする。

(部会長校)

4. 部会長校は、2016年までの輪番制を継承する。
（注3）部会長校輪番（2017年度以降の輪番：阪神→京都→中国・四国→東海→九州）
ただし、会長校の輪番と部会長校の輪番が同地区に重複する場合は、会長校の選出を優先し、部会長校の選出を他地区と調整する。

(監事校)

5. 監事校は、前部会長校とする。
ただし、前会長校が西地区から選出された場合は、前会長校とする。

(総会・研究大会当番校)

6. 総会・研究大会当番校は、収容定員が6,001人以上の大学が所属する西地区部会の各地区の校数比率を目安にした輪番制とする。

(総会当番校、研究会当番校)

7. 総会当番校、研究会当番校は、2016年度までの輪番制を継承する。
（注3）総会当番校（2017年度以降の輪番：京都→東海→阪神→九州→中国・四国）
研究会当番校（2017年度以降の輪番：九州→中国・四国→京都→東海→阪神）

(施行と見直し)

8. この申合せの施行は別紙輪番表のとおり2017年度から2044年度の輪番とする。
ただし、長期に渡るため、10年毎を目処に状況に応じて申合せの見直しが必要であるか等を西地区部会役員会において検討する。

(改廃)

9. この申合せの改廃は、西地区部会役員会において決定する。

注1. 収容定員は、『平成20年度全国大学一覧』東京：財団法人文教協会、2008年』による平成20年5月1日現在の収録状況の入学定員に基づいて算出した。

注2. 私立大学図書館協会会費細則（平成8年度施行）

注3. 「役員校、委員会委員等選出方法（西地区部会を中心に）」（2006年4月1日修正）

私立大学図書館協会西地区部会役員校・当番校輪番制

資料No.5

実績・予定 役員校・当番校 (1989~2016)							案 役員校・当番校 (2017~2044)									
年度	会長校	部会長校	監事校	全国総会	西総会	西研究会	年度	会長校	部会長校	監事校	全国総会	西総会	西研究会			
1989	東	阪神	東海	阪神	阪神	京都	2017	東海	阪神	九州	阪神	京都	九州			
1990				中国四国	九州	東海	2018				京都	東海	中国四国			
1991	阪神	京都	阪神	東	中国四国	阪神	2019	東	京都	東海	東	阪神	京都			
1992				東	京都	九州	2020				東	九州	東海			
1993	九州	東海	阪神	阪神	東海	中国四国	2021	九州	中国四国	京都	東海	中国四国	阪神			
1994				東	阪神	京都	2022				阪神	京都	九州			
1995	東	九州	九州	東	九州	東海	2023	東	東海	九州	東	東海	中国四国			
1996				東	中国四国	阪神	2024				東	阪神	京都			
1997	京都	阪神	九州	京都	京都	九州	2025	阪神	九州	東海	京都	九州	東海			
1998				東	東海	中国四国	2026				九州	中国四国	阪神			
1999	東	京都	京都	九州	阪神	京都	2027	東	阪神	阪神	東	京都	九州			
2000				東	九州	東海	2028				東	東海	中国四国			
2001	東海	中国四国	京都	東	中国四国	阪神	2029	京都	中国四国	阪神	東海	阪神	京都			
2002				東海	京都	九州	2030				阪神	九州	東海			
2003	東	東海	東海	東	東海	中国四国	2031	東	京都	京都	東	中国四国	阪神			
2004				東	阪神	京都	2032				東	京都	九州			
2005	京都	九州	東海	中国四国	九州	東海	2033	東海	九州	京都	阪神	東海	中国四国			
2006				阪神	中国四国	阪神	2034				中国四国	阪神	京都			
2007	東	阪神	京都	東	京都	九州	2035	東	東海	東海	東	九州	東海			
2008				東	東海	中国四国	2036				東	中国四国	阪神			
2009	阪神	京都	阪神	京都	阪神	京都	2037	阪神	京都	東海	九州	京都	九州			
2010				九州	九州	東海	2038				京都	東海	中国四国			
2011	東	中国四国	阪神	東	中国四国	阪神	2039	東	阪神	阪神	東	阪神	京都			
2012				東	京都	九州	2040				東	九州	東海			
2013	京都	東海	中国四国	東海	東海	中国四国	2041	京都	中国四国	阪神	東海	中国四国	阪神			
2014				中国四国	阪神	京都	2042				阪神	京都	九州			
2015	東	九州	京都	東	九州	東海	2043	東	東海	京都	東	東海	中国四国			
2016				東	中国四国	阪神	2044				東	阪神	京都			
西地区小計 (1989~2016)							小計	西地区小計 (2017~2044)							合計	
役数	14	14	14	28	28	28	126	役数	14	14	14	28	28	28	126	252
東海	1	3	3	2	5	6	20	東海	2	3	4	3	6	5	23	43
京都	3	3	4	2	5	6	23	京都	2	3	4	3	6	6	24	47
阪神	2	3	4	3	6	6	24	阪神	2	3	4	5	6	5	25	49
中国四国	0	2	1	3	6	5	17	中国四国	0	3	0	1	5	6	15	32
九州	1	3	2	2	6	5	19	九州	1	2	2	2	5	6	18	37
西担当計	7	14	14	12	28	28	103	西担当計	7	14	14	14	28	28	105	208

私立大学図書館協会西地区部会収容定員数新旧表

① 2019年度時点

収容定員数			東海	京都	阪神	中国・四 国	九州	合計
			50	41	71	42	49	253
4,000人以下			36	32	53	32	41	194
4,001人以上			1	2	2	5	2	12
5,001人以上			3	3	3	4	3	16
6,001人以上		総会・研究会	2	0	2	1	0	5
7,001人以上			1	0	2	0	1	4
8,001人以上	会長校		7	4	9	0	2	22

② 2009年度時点

収容定員数*1		東海		京都		阪神		中国・四 国		九州		合計	
		校数*2	役比率*3	校数	役比率	校数	役比率	校数	役比率	校数	役比率	校数	役数*4
会長校	6,001人以上	7	1.69	5	1.21	12	2.90	1	0.24	4	0.97	29	7.00
	7,001人以上	6	2.00	4	1.33	9	3.00	0	0.00	2	0.67	21	7.00
	8,001人以上	5	2.06	4	1.65	6	2.47	0	0.00	2	0.82	17	7.00
総会・ 研究会	4,001人以上	13	3.19	10	2.46	18	4.42	7	1.72	9	2.21	57	14.00
	5,001人以上	11	3.28	8	2.38	16	4.77	6	1.79	6	1.79	47	14.00
	6,001人以上	7	3.38	5	2.41	12	5.79	1	0.48	4	1.93	29	14.00
	7,001人以上	6	4.00	4	2.67	9	6.00	0	0.00	2	1.33	21	14.00
	8,001人以上	5	4.12	4	3.29	6	4.94	0	0.00	2	1.65	17	14.00

*1：収容定員：平成20年度全国大学一覧から算出した収容定員数

*2：校数：当該収容定員の西地区部会の地区別校数及び西地区部会合計

*3：役比率：各収容定員数別の地区校数÷西地区合計校数×役数＝役回りの担当目安

*4：役数：2017～2044年までの会長校、全国総会・研究会等の西地区担当数

私立大学図書館協会西地区部会 歴代会報担当校

	地区協議会理事校	地区名	会長校
2001-02	同志社	京都	中京大学
2003-04			
2005-06	大阪国際	阪神	龍谷大学
2007-08			
2009-10	名古屋外大	東海	関西大学
2011-12			
2013-14	奈良産業大	京都	立命館大学
2015-16			
2017-18	神戸女子	阪神	名城大学
2019-20			
2021-22	愛知工業大	東海	西南学院大学
2023-24			
2025-26	京都先端科学大？	京都？	関西学院大学
2027-28			
2029-30		阪神？	(京都)

神戸女子大
昨年度アンケート内で
3地区だけの輪番制
に疑問を呈している。

※2年毎に東・西地区で担当

※慣例的に東海、京都、阪神地区の理事校から選出。(2006年度委員等選出方法資料より抜粋)

※上記記載は、2001～会報誌奥付の会報担当校より抜粋。